

第45号議案 令和6年度品川区一般会計補正予算 自治体SDGsモデル事業について

1 背景・目的

令和6年5月23日に内閣府からSDGs未来都市および自治体SDGsモデル事業にダブル選定されたことから、国の補助金を活用し、自治体SDGsモデル事業の取組を推進する。官民連携で自律的な地域課題の解決とその活動の持続的な好循環を生み出し、SDGs未来都市を目指す。

2 補正予算額

- (1) 歳出 30,000千円
＜内訳＞ ①全体マネジメント・普及啓発 10,000千円
②モデル事業実施 20,000千円
- (2) 歳入 20,000千円
＜内訳＞ ①全体マネジメント・普及啓発 10,000千円 (10/10)
②モデル事業実施 10,000千円 (1/2)

3 内容

①全体マネジメント・普及啓発

- ・3か年のSDGs未来都市計画を策定し、KPI（重要業績指標）の達成状況などの進捗を管理することで、SDGs達成に向けた取組を着実に進める。
- ・職員向けのワークショップやセミナーを実施し、庁内の各部署から積極的に「(仮称)品川区ラボ」へ行政課題をあげる組織風土の醸成、官民共創の意識浸透を図る。

②モデル事業実施

- ・多様な主体が、社会課題の共有や意見交換などの活動を行う「しながわSDGs共創推進プラットフォーム」を構築し、社会課題の解決を図る。
- ・「(仮称)品川区ラボ」の専用ホームページを開設し、行政課題・地域課題を提示し、企業等から解決策の提案を募ることで、マッチングによる連携事業の創出を図る。

4 スケジュール

- | | |
|---------|---------------------------|
| 令和6年8月～ | SDGs未来都市計画策定、進捗管理 |
| 9月上旬 | 第1回しながわSDGs共創推進プラットフォーム開催 |
| 9月～10月 | 「(仮称)品川区ラボ」専用HP開設、提案募集開始 |
| 10月～11月 | 職員向けワークショップ実施 |